

# 排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

A 重油ボイラからヒートポンプへの  
更新プロジェクト

排出削減事業者名：株式会社サラダファーム 印

排出削減事業共同実施者名：株式会社F Tカーボン 印

排出削減事業共同実施者名：合同会社F Tカーボンマネジメント 印

その他関連事業者名： 印

申請日：2019年8月30日

## 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	株式会社サラダファーム
排出削減事業を実施する事業所 (複数の事業所で実施する場合、行を挿入し全事業所を記載すること)	
事業所名	10号ハウス
住所	〒028-7113 岩手県八幡平市平笠第2地割6番地8
排出削減事業共同実施者 (J-クレジット保有予定者) (	
排出削減事業共同実施者名①	株式会社F Tカーボン
その他関連事業者 (複数の関連事業者がいる場合、行を挿入し全ての関連事業者を記載すること)	
関連事業者名	

### 1 排出削減活動の概要

#### 1.1 排出削減事業の名称

A 重油ボイラからヒートポンプへの更新プロジェクト

#### 1.2 排出削減事業の目的

現在稼働している A 重油ボイラ 2 基をヒートポンプ 2 基へ更新する。省エネルギーするとともに、低炭素燃料を使用することで、CO2 排出量を削減する。

#### 1.3 温室効果ガス排出量の削減方法

A 重油ボイラからヒートポンプに更新する。高効率化によって省エネルギーを図るとともに、A 重油よりも低炭素な燃料である電力に転換することにより、CO2 排出量を削減する。

#### 1.4 J-クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

#### 1.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

##### 【第3回認証申請時に申請済み】

ヒートポンプの所有者及び電力使用者を株式会社サラダファームに変更したため、排出削減事業者名を「株式会社岩手エッグデリカ」から「株式会社サラダファーム」に変更。

##### 【本認証申請時に申請】

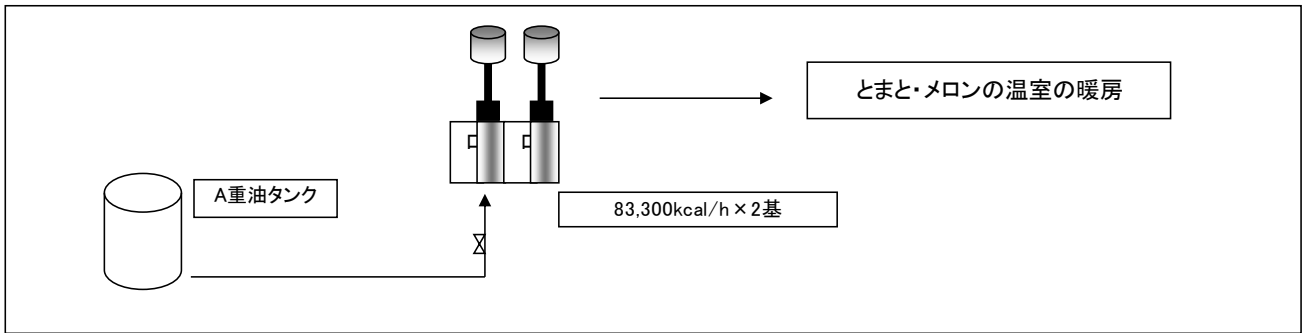
③排出削減事業共同実施者の追加

排出削減事業共同実施者名	合同会社F Tカーボンマネジメント
--------------	-------------------

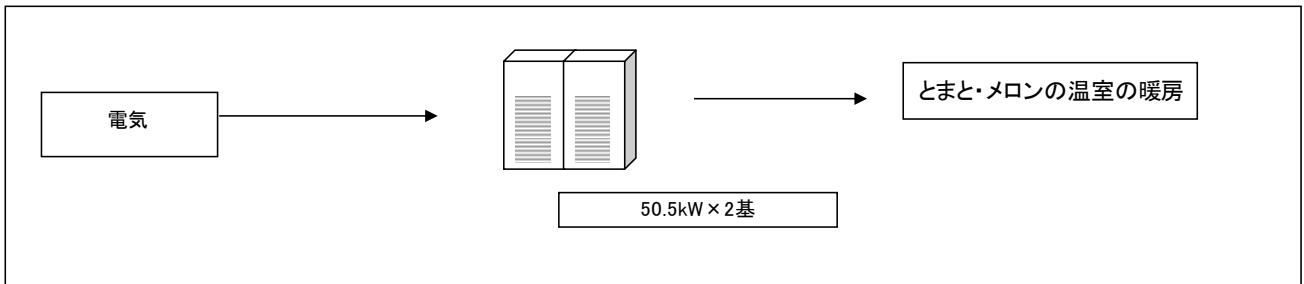
## 1.6 排出削減事業に関わる設備（詳細）

(備考) A 重油ボイラからヒートポンプへの更新プロジェクトの概要

(排出削減事業実施前の設備概要)



(排出削減事業実施後の設備概要)



(排出削減事業実施前の設備)

設備名称(メーカー・型番)	ネポン HK3027
設備導入時期	2009年4月
法定耐用年数	15年
直近の法定検査受審日	なし
設備効率	90% (カタログ値、低位発熱量基準)

同機種を2基設置

(排出削減事業場所の画像)



(排出削減事業実施後の設備)

設備名称(メーカー・型番)	東芝キャリア RUW-P6002
法定耐用年数	15年

設備効率	339% (カタログ値)
------	--------------

同機種を2基設置

## 2 排出削減活動期間

### 2.1 プロジェクト開始日

2011年4月1日

### 2.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2016年5月19日 ~ 2019年3月31日

## 3 温室効果ガス排出削減量

### 3.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
004	空調設備の更新

### 3.2 活動量

#### 3.2.1 活動量・原単位

活動量・原単位は採用しない。

#### 3.2.2 活動量の採用根拠

活動量は採用しない。

### 3.3 事業の範囲 (バウンダリー)

ヒートポンプ及びヒートポンプによる暖房が行われるビニルハウス。

#### 4 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更 ある場合、) 変更理由
EL <sub>PJ</sub>	事業実施後電力使用量	kWh	(2016年度) 76,762 (2017年度以降) 124,318	電力会社の請求書	変更なし
HV <sub>fuel,PJ</sub>	購入電力の単位発熱量	GJ/kWh	0.0036	J-クレジット制度のデ フォルト値	変更なし
ε <sub>BL</sub>	更新前 A 重油ボイラ効 率	%	85.5 (高位発熱量)	カタログ値	変更なし
ε <sub>PJ</sub>	ヒートポンプエネルギー 消費効率(暖房 COP)	%	338.93	カタログ値	変更なし
CF <sub>fuel,BL</sub>	A 重油の単位発熱量あ たりの CO2 排出係数	tCO2/GJ	0.0708	J-クレジット制度のデ フォルト値	変更なし
CF <sub>electricity,PJ</sub>	電力の CO2 排出係数	kgCO2/k Wh	0.516 【全電源、2016年度】 0.496 【全電源、2017年度】	J-クレジット制度のデ フォルト値	変更なし

## 5 排出削減量の計算

### 5.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
76,762 (kWh)		0.516 (kgCO <sub>2</sub> /kWh)	
124,318 (kWh)		0.496 (kgCO <sub>2</sub> /kWh)	
EM <sub>PJ</sub>			101.3 (t-CO <sub>2</sub> )

(注) 電力のCO<sub>2</sub>排出係数は、排出削減量の評価が有利になるため全電源方式を採用した。

### 5.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
76,762 (kWh)	0.0036 (GJ/kWh)	0.0708 (tCO <sub>2</sub> /GJ)	
124,318 (kWh)			
338.93 (%)			
85.50 (%)			
EM <sub>BL</sub>			203.2 (t-CO <sub>2</sub> )

### 5.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
			0
LE			0

### 5.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EM <sub>BL</sub>	203.2
事業実施後排出量 (7.1)	EM <sub>PJ</sub>	101.3
リークージ排出量 (7.3)	LE	0
温室効果ガス排出削減量	ER	101

## 6 省エネルギー量

原油換算		
ベースライン (kL) (①)	実績 (kL) (②)	ベースライン-実績 (kL) (①-②)
74.0	0	74.0
0	51.7	▲51.7

省エネ量  $74.0 - 51.7 = 22.3$  (kl)

## 7 再生可能エネルギー利用量

本事業は再生可能エネルギーを利用しない。